

2019（平成 31）年度事業報告

I. 事業の概要

当協会の事業は、公益目的事業・収益活動事業・法人に係る事業に大別し、公益目的事業にあつては普及認定活動事業及び地域組織活動事業であり具体的には、公認コースの認定事業、アドバイザー・指導員など指導者の認定事業、機関紙やホームページによる広報事業、さらには愛好者拡大のためのイベントの実施や支援、地域組織の強化を図るための事業などを実施した。また、指導委員会を設置し、パークゴルフ規則の見直しを行った。

一方、収益事業は用具用品等の認定と書籍・物品等の販売事業を実施しており、クラブ・ボール・ティーなどの用具認定に係る益金及びシューズ・ウェアなどのグッズ用品に対する商標権の提供に係る益金、ルールブック等の販売益金が主なものであり法人に係る事業は、法人の管理業務に関するものやその他法人全般に係るものである。

II. 協会運営に関する事項

パークゴルフの正しい普及発展に寄与し、法人としての協会運営の充実を図るため、下記のとおり会議等を開催した。

(1) 平成 31 年度定時総会

平成 31 年 4 月 18 日（木）15:00～16:40 札幌市

正会員数 40 団体

出席者数 40 団体（委任状 5 団体含む）

議決事項

- ・平成 30 年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業報告
- ・平成 30 年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業会計収支決算
- ・監査報告
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会理事及び監事の選任

報告事項

- ・2019（平成 31）年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業計画
- ・2019（平成 31）年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業会計収支予算
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会コース用具の基準
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会パークゴルフ公認コース用具の認定に関する規程
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会パークゴルフコース設置基準の一部改正
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会公認コース認定規程の一部改正
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会パークゴルフ規則の一部改正

(2) 2019（平成 31）年度理事会の開催

第 1 回理事会

平成 31 年 4 月 3 日（水）14:00～15:30 帯広市

議決事項

- ・平成 30 年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業報告
- ・平成 30 年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業会計収支決算

- ・監査報告
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会特定費用準備資金取扱規程
- ・日本パークゴルフ協会設立 40 周年記念事業積立資金
- ・2019（平成 31）年度功労者通常表彰の決定
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会理事及び監事の選任

報告事項

- ・会員の入会承認
- ・公認コースの認定及び取り消し
- ・その他

第 1 回臨時理事会

令和元年 10 月 24 日（木）14：00～17：10 帯広市

議決事項

- ・理事会及び定時総会等の開催
- ・パークゴルフ規則の一部改正
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会指導者に関する規程の一部改正

報告事項

- ・会員の入会承認及び退会
- ・公認コースの認定及び辞退
- ・NPGA 杯第 10 回全日本パークゴルフ大会の開催期日
- ・公益財団法人日本レクリエーション協会への加盟

第 2 回理事会

令和 2 年 2 月 20 日（木）14:00～16:00 帯広市

議決事項

- ・令和 2 年度功労者通常表彰の決定
- ・令和 2 年度事業計画
- ・令和 2 年度事業会計収支予算
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会指導者に関する規程の一部改正
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会職員の退職手当に関する規程の一部改正
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会職員給与規程の一部改正
- ・正会員（連合会）の入会承認
- ・債権放棄

報告事項

- ・会員の入会承認及び退会
- ・公認コースの認定及び辞退

※組織概要（令和 2 年 2 月末現在）

①日本協会加盟団体（会員数）	8 5 5		
【正会員（連合会）】	4 0		
【普通会員】	4 3 5	【コース会員】	3 3 4
【一般賛助会員】	3 3	【工業会賛助会員】	1 3
②コース数	1, 2 1 1 コース（うち公認コース	3 4 9 コース）	

III. 事業の実施に関する事項

1. 公益目的に係る事業

日本国内におけるパークゴルフの普及振興を図り、もって人々の心身の健全な発達と生涯スポーツの振興に寄与するために次の事業を実施した。

(1) 認定事業

1) コース認定事業

○新規申請及び更新申請コースを随時審査・認定した。

(認定審査委員会は、原則隔週木曜日に開催)

新規 7 コース、 更新 21 コース、 増設・変更 7 コース

2) 指導者認定等事業

○パークゴルフの普及・指導にあたる指導者を養成し、かつ資質の向上を図り、組織的指導体制の確立を図るために実施した。

実施主体 各連合会、市区町村協会、日本協会 52 回実施

指導員 1,060 人、 アドバイザー 614 人

(2) 普及事業

パークゴルフ発祥の原点である「自然を大切に・世代間の交流・安全で楽しいスポーツ」を理念として愛好者の拡大を図るために各連合会及び協会が各種事業を実施した。

1) パークゴルフふれあい事業

①新しいパークゴルフ愛好者への普及活動

- 初心者教室
- 小・中・高校生への啓蒙活動・学校への出前教室等
- 三世代パークゴルフ交流会を各地で開催
- 健常者と障害者とのパークゴルフ教室や交流大会
- 連合会等普及活動事業支援 (26 事業)

②地域間交流、世代間交流を推進するための大会の開催及び後援活動

○日本パークゴルフ協会の主催事業 (3 事業)

- ・「NPGA 杯第 9 回 2019 全日本パークゴルフ大会南加賀 in 石川」
10 月 4 (金) 総合開会式・交流会 5・6 日 (土・日) 競技
チャンピオン大会 257 人、交流大会 203 人、ペア大会 186 人、合計 555 人参加
- ・「第 33 回パークゴルフ国際大会」 北海道幕別町 6 月 16 日 (日) 212 人参加
(中高生 9 人、外国人 16 カ国 65 人、一般・シニア日本人 138 人)
- ・「第 33 回パークゴルフ北海道オープン」北海道苫小牧市 7 月 14 日 (日) 221 人参加

○地域連合会との協賛大会

全国大会 (6 大会)

- ・「第 23 回パークゴルフ全国交流大会 さくらカップ」宮城県大崎市
5 月 11・12 日 (土・日) 432 人参加
- ・「パークゴルフ全国大会 りんどうカップ 2019」岩手県洋野町
6 月 8・9 日 (土・日) 274 人参加
- ・「第 6 回全国パークゴルフ十和田大会」青森県十和田市
7 月 27・28 日 (土・日) 236 人参加

- ・「第12回全国パークゴルフ交流大会 in 射水」富山県射水市
9月8日(日) 461人参加
- ・「第10回全国パークゴルフ東京大会」千葉県山武市 9月22日(日) 256人参加
- ・「2019相馬松川浦カップ全国パークゴルフ選手権大会」福島県相馬市
11月30・12月1日(土・日) 524人参加
- 複数パークゴルフ協会連合会共同主要大会(7事業)…………… 2,076人参加
- ねんりんピック和歌山2019年 11月10・11日(日・月) 32チーム 128人参加

③パークゴルフ協会等の組織強化の取り組み

- 協会、連合会設立に向けて各地域との相談業務
- 平成31年度 都道府県パークゴルフ協会連合会連絡会議
平成31年4月18日(木) 13:00~14:30 札幌市
連合会役員、日本協会理事など関係者 68人出席

議 題

- ・ブロック会議について
- ・連合会普及活動事業支援金について
- ・「NPGA杯第9回全日本パークゴルフ大会2019石川」について
- ・「第33回パークゴルフ国際大会」開催要項
- ・「第33回パークゴルフ北海道オープン」の開催要項
- ・その他

④パークゴルフ規則の見直し

- ・日本パークゴルフ協会指導員会を設置し、8回にわたって検討を行うとともに、各連合会への意見聴取等を経て、パークゴルフ規則の一部改正を行った。併せて、改正後のルールを登載した「パークゴルフオフィシャルガイドブック」を編集、発行した。

⑤体育協会等の連携促進の取り組み

- ・日本レクリエーション協会への加盟が承認された。

⑥パークゴルフの日(8月9日)の宣伝活動の実施

- ・全国の連合会で大会・交流会・教室等を実施

⑦海外普及活動

- ・パークゴルフの正しい普及を図るため、パークゴルフの国際組織の設立について韓国内のパークゴルフ組織を統轄する大韓パークゴルフ協会と協議を行い、6月に韓国、アメリカ、ブラジル、パラグアイ、スウェーデン、デンマーク、日本の7カ国により「国際パークゴルフ連盟(International Park Golf Federation)」を設立した。

2) 広報事業

協会機関紙の発行は、年5回(奇数月発行・合併号1回)で毎号約9100部発行。NPGA全会員、指導員、関係機関等に配付及び定期購読者へ配付、各地域の普及活動を紹介し、愛好者の増大につながる情報を伝えた。ホームページを運営し、広くパークゴルフの認知拡大を図った。

- ・NPGAニュースのバックナンバーをアップするなどホームページの充実を図った。
- ・全国の未加盟パークゴルフ場の調査結果に基づき、コース会員への入会案内に取り組んだ。(継続事業)
- ・PR用のクリアファイルやリーフレットを作成、配布しパークゴルフのPRに努めた。
- ・パンフレットやポスターを、より広く配布することによる広報活動を行った。(継続事業)

3) 研修会等事業

○ 指導者研修会の開催

パークゴルフの指導にあたる指導者(アドバイザー・指導員)の資質の向上を図るために実施

実施主体 各連合会、市区町村協会、日本協会

延 204 日実施、 指導員 2,789 人、アドバイザー 2,248 人

○指導部長研修会の開催

改正後のパークゴルフ規則等についての周知徹底を図るため、全国の指導部長が一堂に会しての研修会を開催した。

2. 収益目的に係る事業

(1) パークゴルフ用具の認定

- 公認申請用具(新規・更新)は、認定審査委員会を開催し、認定した。
(認定審査委員会は、原則隔週木曜日に開催)

2019(平成31)年度パークゴルフ用具の認定数(認定シール発行数)

認定品目	商社数	認定数	備考
クラブ	12社	47,590本	
ボール	8社	201,300個	
ティ	5社	22,600個	

(2) 商標使用申請の承認は、認定審査委員会を開催し承認をした。

(認定審査委員会は、原則隔週木曜日に開催)

- ・使用料免除 17件(すべて営利目的外)

(3) 書籍等販売事業

- パークゴルフの正しい普及のため、「ルールブック等」を販売した。

- ・ルールブック 884冊
- ・ミニブック 日本語 970冊、英語 10冊
- ・オフィシャルガイドブック 19,366冊

- パークゴルフの普及のため、「バッチ・のぼり」を販売した。

- ・パッキーのぼり 189枚
- ・表彰用メダル 114個
- ・バッチ 310個